

平成26年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	地区の防災安心応援事業
事業主体 (連絡先)	生坂村
事業区分	(4) 安全・安心な地域づくりに関する事業
事業タイプ	ソフト / ハード / ソフト・ハード
総事業費	3,632,040円 (うち支援金: 2,724,000円)

事業内容

【上:住民懇談会の様子】
【下:避難訓練の様子】

住民主導型の警戒避難体制づくりを残る5区で推進し、全村による土砂災害による犠牲者ゼロのむらづくりや、住民主導型の防災意識の向上を図ることを目的に事業を実施した。

- 1 住民懇談会等の開催
地区自主防災会が参集する住民懇談会等に群馬大学のサポートを受けながら、地区の実態にあった独自の取組みについて話し合いを行った。
- 2 防災マップの作成 (300部)
懇談会での議論を取りまとめた防災マップの作成と対象世帯への配布
- 3 豪雨災害を想定した避難訓練・反省会の実施
懇談会で策定した自主避難計画に基づいた避難訓練を実施



事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

住民懇談会の実施により、身近な危険箇所や過去の災害の状況、予兆現象など話し合うことで防災意識を高めることができた。

- ① 懇談会の話し合いにより、住民自らの警戒基準、自主避難基準、避難場所や経路などについて策定することができた。
- ② 懇談会の話し合いにより、地域の危険箇所や災害発生箇所の確認ができ、改めて地域での再確認ができた。
- ④ 11月9日(日)、住民自らが考え判断し自主避難する訓練を初めて全村を対象に行った。今後も継続して実施し定着を図る。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

住民の主体により警戒・避難基準や避難経路、危険箇所などを話し合い、全村で自主避難計画を策定することができました。今後は新たなこの仕組みをいかに定着させていくか、また避難訓練の効果的な実施方法とどのように継続していくか住民と共に考え、協働により防災体制の整備を進めます。

【目標・ねらい】

- ① 住民の防災意識の向上
- ② 警戒・自主避難基準の策定
- ③ 地域の危険箇所の把握
- ④ 村内全区での避難訓練実施

※自己評価【A】

【理由】

住民主体の避難体制づくりを通して、住民自らが基準やルールについて話し合い、自主避難の必要性や避難のあり方について考える機会となり、全村において住民主導の警戒避難体制整備ができた。

(別記様式第12号) (第3の8関係)

- ※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた
「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある